

3. 3. 検出限界と定量限界の求め方

上の定義（30%RSD を示す濃度）に基づいて検出限界を推定する方法を Fig.10 に示す。図には、定量範囲（RSD<10%）を求める方法も記してある。この定義により、競合法と非競合法は、同じ定義により、検出限界と定量範囲が求められる。

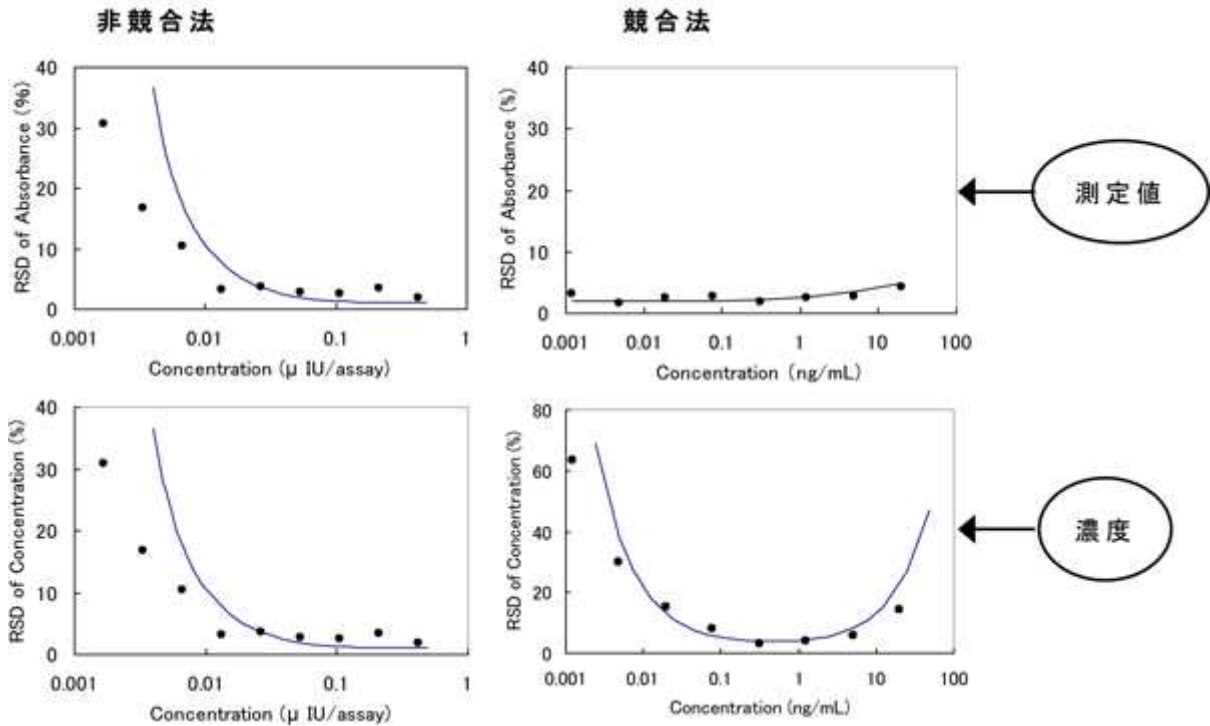


Figure 10 非競合法（上）と競合法（下）における検出限界と定量範囲の求め方 左：検量線，右：濃度推定値のRSD。実験は Fig.9 と同じである。

従来の検出限界の定義は測定値の統計量を基準にしていた。一方、新しい検出限界の定義は濃度（分析値）の統計量を基準にしている。分析者が最終的に知りたい量は、測定値ではなくて、分析値であるから、分析値を基準にした検出限界の定義は妥当であると考えられる。